

令和3年度 第1回児童による学校評価 まとめと見解

八王子市立小宮小学校

校長 安藤 臣一

仲秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に際しましてご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年度実施の「第1回児童による学校評価」についてその結果をまとめましたのでご報告いたします。なお、この結果は、本校の各校務分掌担当者が分析検討し、本校の教育活動の改善に反映しております。ご質問等ございましたら、本校までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【1】実施時期 令和3年7月5日～7月9日

【2】回答率 児童数 198 (5年 103 6年 95) 回収数 188 (5年 101 6年 87) 回答率 94.9%

【3】各項目結果のまとめ

A…あてはまる B…だいたいあてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない E…わからない (昨年度比)

No.	評価項目	AB 評価率	CD 評価率	E 評価率
1	学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える！ つなげる！ ゴースマイル！」を知っている。	97% (+18)	1% (-9)	2% (-8)
2	学校は力を入れて行っている取り組み「多摩川の学習（4年）、畑での栽培活動（全学年）、昔遊び・読み聞かせ・昔のくらし等」に取り組んでいる。	84% (+4)	6% (-6)	10% (+2)
3	自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動するように先生たちは指導している。	94% (+1)	3% (+1)	3% (-2)
4	学級は落ち着いて学習できる雰囲気である。	86% (-2)	8% (0)	5% (+1)
5	先生たちは授業において、説明、板書、話し合い活動、視聴覚機器（ICT機器）の活用などの工夫に取り組んでいる。	90% (+16)	3% (-2)	7% (-14)
6	学校は、いじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。（子供へのアンケート実施・話を聞き、相談にのってくれる等）	93% (+3)	2% (-3)	5% (+1)
7	学校は、生活指導（あいさつ・言葉づかい・学校のきまり等の指導）に取り組んでいる。	96% (+2)	2% (-1)	2% (0)
8	先生たちは、将来の進路や職業について指導している。	67% (+3)	16% (+4)	17% (-7)
9	学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。	97% (+2)	2% (-1)	1% (-1)
10	避難訓練に真面目に取り組んでいる。	95% (0)	4% (+2)	1% (-1)
11	運動に進んで取り組んでいる。	88% (-2)	9% (+2)	3% (+2)
12	自分には良いところがあり、自分のことが好きである。	74% (+1)	19% (+1)	7% (0)

13	自分から進んであいさつしている。	90% (-1)	9% (+2)	1% (0)
14	自分は学校のきまり「小宮スタンダード」を守り、当番や係活動をしている。	82% (+8)	5% (+1)	13% (-9)
15	自分は、友達をいじめることなく、大切にしている。	97% (+2)	1% (-1)	2% (0)
16	家庭学習は、学年×10分している。	73% (+14)	15% (-9)	12% (-3)

【4】項目別評価についての見解

① 「目標」について

「伝える つなげる ゴースマイル！」という重点テーマや学年等の目標の認知は、昨年度から大きく伸張する結果となりました。これは「伝える」というコンセプトを「伝える全校朝会」「委員会連絡集会」「伝える行事」等で、具体的な教育活動として展開してきたことが理由であると受け止めています。今後は「伝える」実践を児童一人一人が自分の学びの場で実践できるようにしていきたいと考えています。

② 「学習」について

学習の項目では、先生の ICT 機器の活用が始まり、児童が授業に対して「わかりやすい」「工夫してくれている」と受け止めていることがわかりました。また、地域とのつながりによる教育活動（畑での栽培活動等）も小宮小学校の特色ある教育活動として、児童が意識できていることがわかりました。

しかし一方で家庭学習の定着が70%程度と教室での落ち着いた学びと比較して低い数値となっています。これは、授業はまじめに受けるけれども、自分からすすんで学習に臨む習慣が定着していない子が3割いることがわかりました。小宮小学校としては、学習を自分のこととして捉えて学ぶことができる子供たちに育てていきたいと考えています。また、進路の学習についても児童が意識できるように意図的計画的に授業をすすめていきます。

③ 「生活」について

あいさつ、言葉遣い、いじめなど全般的に子供たちは周りを意識しながら生活できていることが、このアンケートの結果で裏付けられていることがわかりました。ただ、気になる結果としてはNo.12の質問への回答です。自分の良さを実感できていない子が3割近くいることは、とても気になります。小宮小学校が「伝える」を重点にしている理由は、「伝える」という表現を通して自信をもたせ、自尊感情を高めてほしいと考えているからです。今後とも「伝える」教育活動を工夫して進めていきます。